

燕の魅力を発掘・発信する地域おこし協力隊が始動

ーデザイナー×移住者の視点で魅力を伝え「燕市のファン」を増やしますー

燕市ではこのたび、交流・応援（燕）人口の拡大や、市民の本市への誇りと愛着の醸成を図るため、シティプロモーション業務を担う地域おこし協力隊を初めて採用しました。東京都出身で、大学でプロダクトデザインを学んだ隊員は、燕の金属製品の製作動画をきっかけに、職人の高度な技術とものづくりの奥深さに魅了され、燕市での活動を決意。9月18日の着任後、最長3年間にわたり、デザイナーと移住者の視点から本市の魅力を発掘し、SNS等で発信することで、燕市のファン拡大につなげます。

【情報発信の概要】

1. テーマ：金属加工を中心とした「燕市のものづくり」や
移住者視点で発見・発掘した「人」「自然」「食」などのさまざまな燕の魅力
2. ターゲット：学生や20代を中心とした若い世代
3. 発信内容：
ものづくりに携わる人、製造現場などの場所、そこから見えてくる燕の魅力を紹介。完成した製品だけでなく、製造過程や職人の技術、工場に響く音など、「つくる過程」にも着目。村岡隊員自身の移住経験も交えながら、移住者ならではの視点で燕市の魅力を伝えます。
4. 発信方法：
動画・写真を中心に、燕市公式 Instagram・TikTok などの SNS で発信

【地域おこし協力隊（シティプロモーション業務）の概要】

1. 氏 名：村岡 泰翔 23歳
(東京都より移住／武蔵野美術大学卒業)
2. 着任日：9月18日（金）～
3. 配属先：総務部 広報秘書課 広報広聴係
4. 隊員メッセージ：



燕市を知ったきっかけは、Instagram で見た時田清正さんの「ハンドパン制作」の動画です。完成した製品だけでなく、職人の技術や製造過程、工場に響く音、奏でる音などそのすべてに魅了されました。自分自身の移住経験を生かし、ものづくりの現場にある「人」や「空気感」を伝え、学生や20代を中心とした若い世代から燕市へ興味・関心を持ってもらいたいと思います。



本件についてのお問い合わせ先
総務部 広報秘書課：西村・村岡
電話：0256-77-8363（直通）